

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	810400	2998-9248
事業コード	陸上競技選手権大会支援事業	スポーツ振興課		
810413		グループ	スポーツ振興	
開始年度		平成 12 年度	終了年度	年度

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市スポーツ推進計画			所沢市陸上競技選手権大会実行委員会交付金交付要綱	
	関連・類似事業	所沢シティマラソン大会開催事業				
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	スポーツ振興	基本方針
事業開始の背景	市制施行50周年記念事業として、所沢市体育協会との共催により開催された。					

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	スポーツ振興及び陸上競技を通じた生涯スポーツの普及発展、学校体育と生涯スポーツの連携				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	1,474 人
	小学5年生以上			平成 27 年度	1,516 人
事業の具体的な内容及び実施方法					
所沢市体育協会・市内高等学校陸上競技部教諭・市中学校体育連盟陸上競技専門部・市小学校体育連盟・早稲田大学競走部等で陸上競技選手権大会実行委員会を組織し、埼玉陸上競技協会の共催により、日本陸連の公認記録大会(高校以上は陸連登録者のみ公認記録となる)として開催する。市内小・中・高等学校及び広報並びに市ホームページ、募集チラシのほか、一般財団法人埼玉陸上競技協会のホームページへの情報提供を行い、参加者を募集。					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
予算現額		850		850		850	
決算(見込み含む)		850		850			
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 人)	( 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
正規職員人件費		1.13 人	9,855	1.04 人	9,006		
事業費合計		10,705		9,856			
財源内訳	一般財源	10,705		9,856		850	
	国・県支出金						
	その他( )						

実績	項目名	項目説明	単位	H26 H27 H28見込み 将来目標			
				H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績	参加者数	各種目とリレーの参加者数	人	1,474	1,516	1,500	1,500

成果	項目名	項目説明	単位	H 26 H 27 H28目標値 将来目標				
				目標値	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
				参加者増加率	本年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100	%	100	100
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	134	103	「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る <input type="checkbox"/> どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	大会参加記念としてクリアファイルを参加賞として配布した。記録掲示では大会結果を専用ファイルを用意保管することで、紛失を防ぐことができた。	-

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向性の	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	参加者の安全管理や、効果的な所沢市のPRなど、改善・効率化を進める。
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	安全な大会運営を行うため。
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性		
	前年度とほぼ同様の内容で進めているが、昨年好評だった参加賞を今年も検討している。運営面では事務改善・効率化を図ることで、準備作業時間の縮減を目指している。		公認記録の大会という規模を維持するためには、運営に係る会場設営を含む記録計測など費用の削減は出来ない。今後主たる運営を陸上競技協会等の事業として開催できるよう実施主体をシフトしていきたい。		
	評価日	H28.8.5	評価者職氏名	スポーツ振興課長 海老沢 康子	

環境影響	有益な環境影響	スポーツ事業の充実	有害な環境影響を及ぼす原因活動	大会開催、資料作成	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無